

対象年度	令和 3年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	施策評価事業						予算事業名	企画調整事務経費						
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 経常経費	根拠法令						
			02	01	07	0501								
総合計画体系	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分	主要事業						
	5-2自立した行政経営の確立(行財政運営・広域連携)							担当課係等	企画政策課					
	①効率的な行財政運営						政策調整係							
事業期間	継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
前年度の施策や事務事業を評価することにより、問題点や障害となっている事項が明らかになり、事業の推進や改善が図られる。						行政改革の一環で、NPM(ニューパブリックマネジメント)など、民間の考え方を行政経営に役立てようとする考え方が広まったことによる。								
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】								
○施策評価事業 前年度の状況を、その目的から振り返り、一定の指標により成果志向に立ち客観的に評価する。						市総合計画に掲載された施策及び事務事業								
○実施計画策定事業 3カ年実施計画の策定						【事業をとりまく環境の変化】 行政の透明性の確保や、説明責任など、行政に対する市民の関心は高い。								
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】						
○実施計画策定事業 3カ年実施計画の策定				○実施計画策定事業 3カ年実施計画の策定				○実施計画策定事業 3カ年実施計画の策定						

■事業費

		R01年度	R02年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	0	30			
歳入計(千円)		0	30			
歳 出 内 訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	07 報償費	0	30			
歳出計(千円)(A)		0	30			
伸び率(%)			皆増			
備考	総合計画137ページ 予算書40ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	事務事業評価の実施	回	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	事務事業の改善や施策の方向性決定に資すると共に、効率性や透明性を確保するため、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が主体となって行うものである。
	手段の妥当性	B どちらも言えない	実施計画策定及び行政評価の方法や事務の流れなどの手段は妥当だが、根拠となる総合計画上の施策と予算の位置付けについて一致していない部分があり、シート作成の方法を再検討し、整合性を図る必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	実施計画の事業名と予算名が統一されることで、計画策定及び行政評価時に、財務会計システムから予算・決算等の情報を直接参照でき、より業務の効率化が図れるという点で改善の余地がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	行政評価は、総合計画に基づき実施される各施策が公平かつ効率的に行われ、市民全体の利益となるよう検証することを目的として実施している。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	シートの作成が目的となってしまっている節があるが、シート作成はあくまで手段であり、課題の発見と改善が目的である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	第5次結城市総合計画後期基本計画の目標を達成するための手段として、実施計画及び行政評価は概ね機能している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
総合計画に掲載された施策と予算上の位置づけが一致していない部分があり、施策体系と評価検証の手法について検討する必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
次期総合計画の策定に合わせた施策体系の見直しを行い、業務の効率性と透明性を図る。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>総合計画で掲げる将来都市像を実現するため、各種事業を効果的に進めるためには、計画・実行・評価・改善のいわゆるPDCAサイクルを着実に回していくことが重要である。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>